

MAGCERA 施工マニュアル

オフィス向け

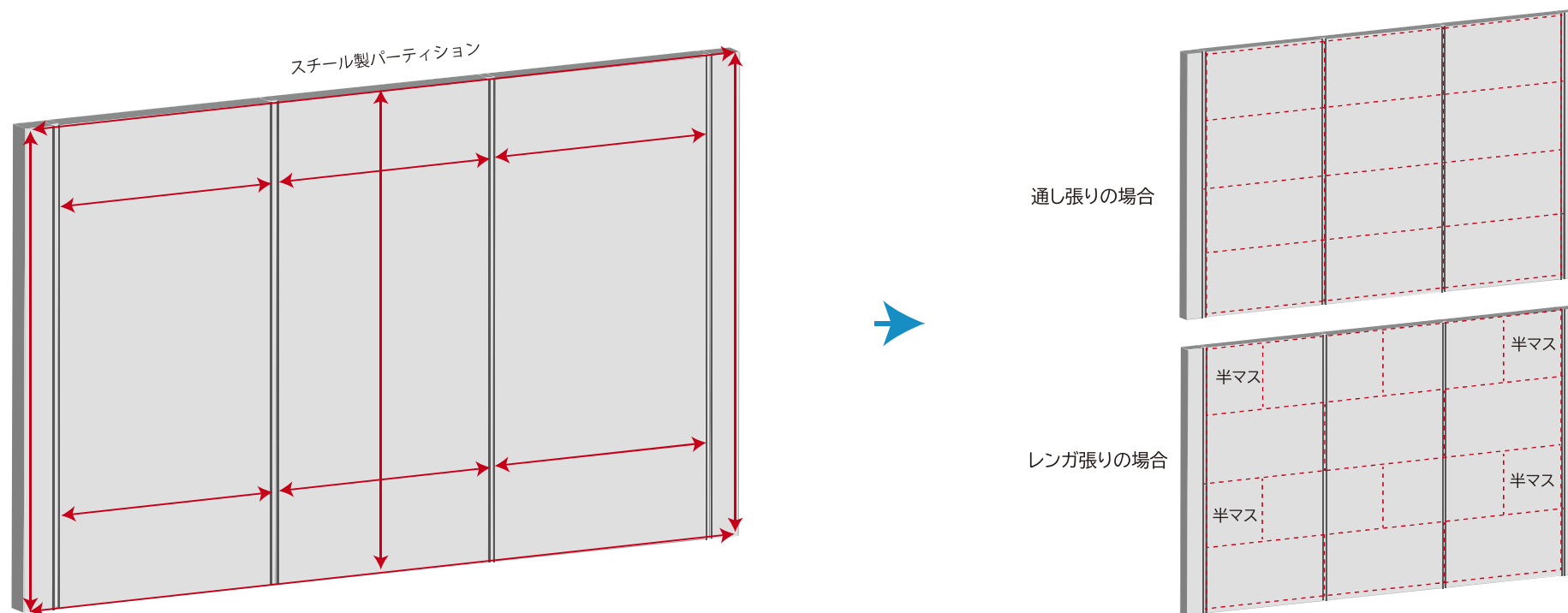


マグセラは磁石が着くスチール製のパーティションへの施工の場合と
磁石が着かない壁面への施工の場合の 2 通りの施工方法があります。

- ・ 磁石が着くスチール製パーティションの場合 施工手順 P1～P3
- ・ 磁石が着かない壁面の場合 施工手順 P4～P7
- ・ カット方法 P8

磁石が着くスチール製パーティションの場合 施工手順 ① 墨出し（例）

パーティションのジョイント部分に2mm以上の段差がある場合は『マグセラ』が跨がない様にしてください。吸着力が落ちます。



張り方が決まったら割付を考えます。カット枚数が少なくなる様に割付けるのがコツですが、カット品は実寸法（幅・高さ）をそれぞれ150mm以上でマグネットシートが張れる大きさを確保してください。また加工がしやすい様にカット幅は50mm以上になる様にしてください。『マグセラ』の実寸法は1200×600mmですが1～3mmの目地幅（間隔）が必要ですので、1枚の目地共寸法を約1202×602mm（約2mm間隔として）で割付けしてください。この場合のレンガ張りの半マス（カット品）の実寸法は約599×600mmになります。カット品は段差内の実寸法やタテヨコの歪みも考慮して施工箇所を実測してから正確にカットしてください。（P8 参照）

磁石が着くスチール製パーティションの場合 施工手順 ② マグネットシートの接着

スチール製のパーティションに施工する場合。

1枚のタイルに4枚の「マグネットシート」が必要です。

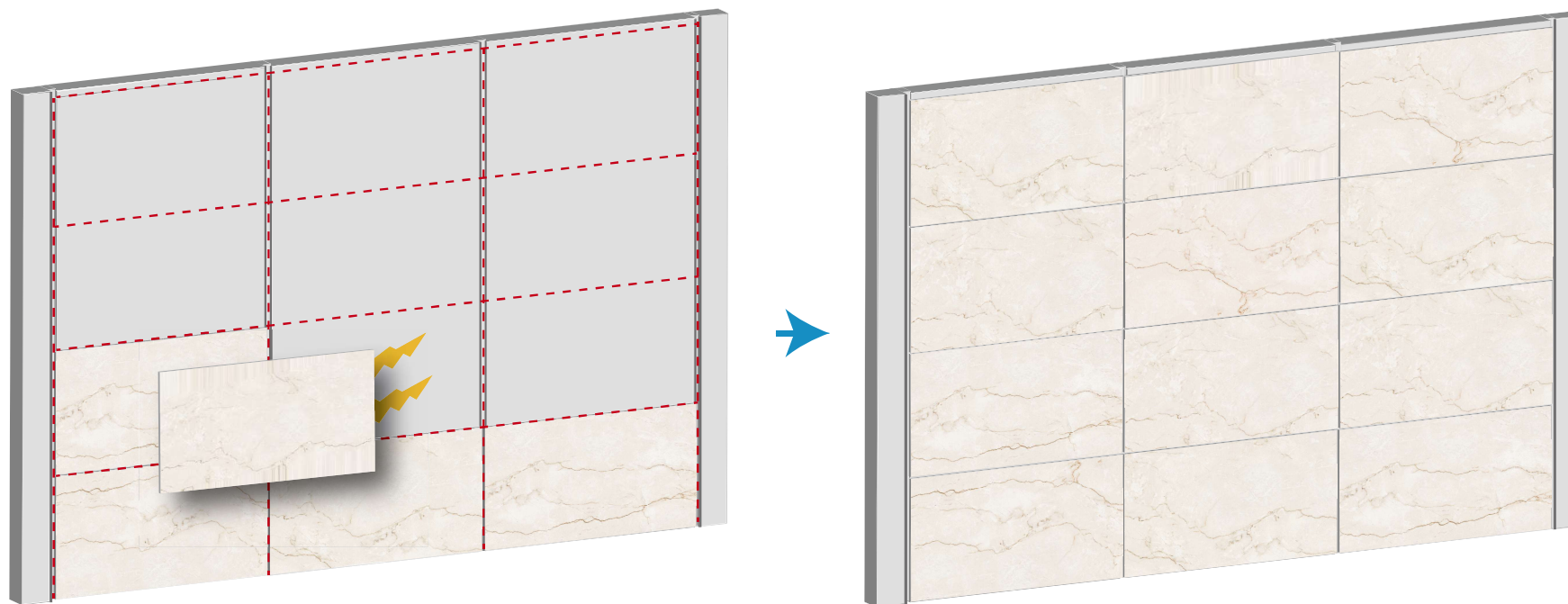


「マグネットシート」の張り付け位置。



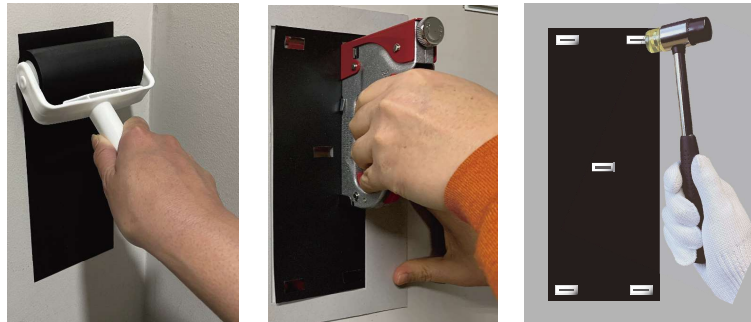
接着し終えたマグセラは養生のため翌日まで平置きにしておいてください。（重ね置きで可）

磁石が着くスチール製パーティションの場合 施工手順 ③ マグセラの設置



パーティションに『マグセラ』を磁力で吸着させていきます。割付通り、**1～3mmの目地分の間隔を空けて**ください。その際にタイルとタイルがぶつからない様に気を付けてください。最後に少し離れたところから全体を確認して、傾きなどの微調整を行ってください。

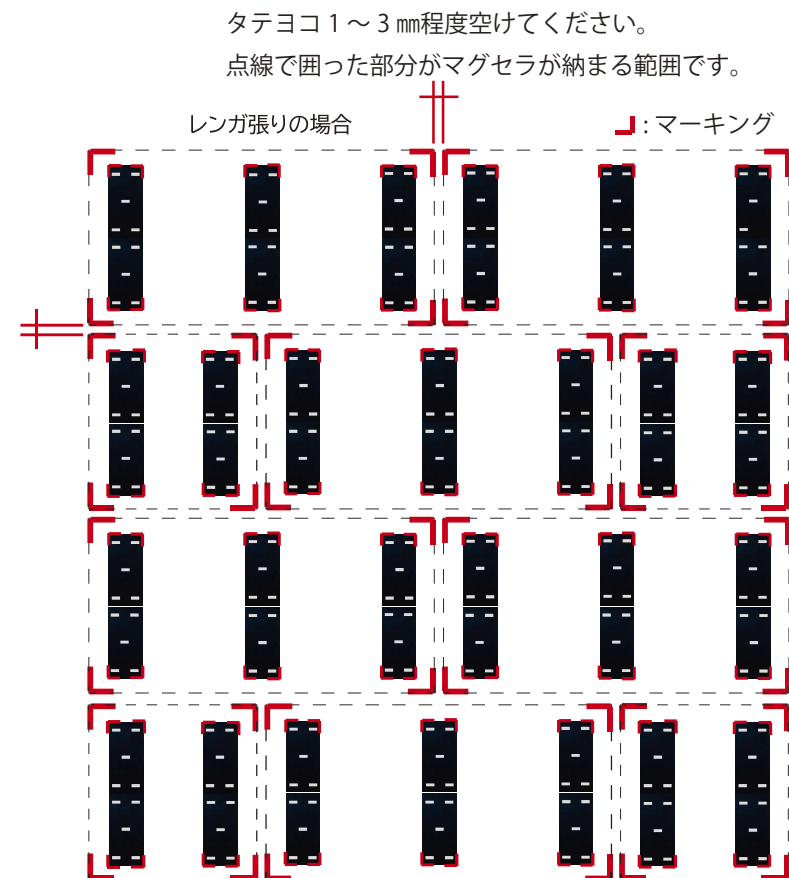
磁石が着かない壁面の場合 施工手順 ① 墨出し（例）



メタルシート（両面テープ付）を壁面に張り付け、ローラー等でしっかり下地に接着させます。さらに剥がれない様に補強のためのステンレスシールを5カ所に張り付け、タッカーの針を打込みます。固定したタッカーの頭部をプラスチックハンマーでたたき、タイルとの間に隙間が出ない様にしてください。



壁面のクロスが剥がれがある場合は専用の接着剤で補修後さらにタッカーでしっかりと補修してください。



磁石が効かないボード下地・コンクリート下地の壁紙・塗装の壁面へ『マグセラ』の施工は、磁石が付くメタルシートの張付けが必要です。下地の状態を確認して壁紙等の浮きがない様、下地が万全な状態を確保してください。『マグセラ』の実寸法は1200×600mmですが1～3mmの目地幅（間隔）が必要ですので、1枚の目地共寸法を1202×602mm（2mm間隔として）で割付けしてください。この場合のレンガ張りの半マス（カット品）の実寸法は599×600mmになります。

磁石が着かない壁面の場合 施工手順 ② 墨出し（例）



レンガ張りの場合、半マス等のカット品は施工箇所を実測してから正確な寸法でカットしてください。（P8 参照）割付に従ってマグセラの間隔を上下左右 1 ～ 3 mm 程度空ける状態で別売りの「メタルシート」を張っていきます。タイルのカットがある場合は実際の壁の寸法を確認してからカットし「マグネットシート」を既定の位置に接着してください。下地がコンクリート以外の場合は「ステンレスシール」を「メタルシート」の 5 カ所に張り付けその上からタッカーの針を打込みます。針の頭が数ミリ飛び出ている場合はプラスチックハンマー等で頭を打付けてタイルと「メタルシート」の間に隙間が出ない様にしてください。

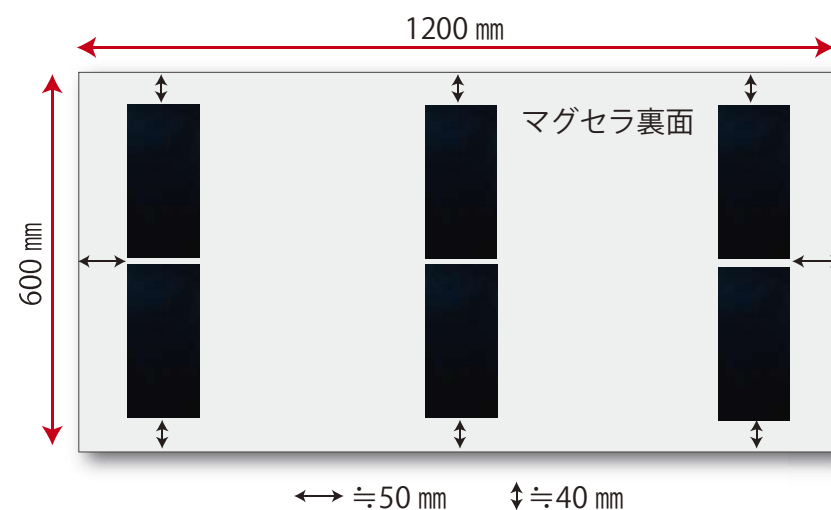
磁石が着かない壁面の場合 施工手順 ② マグネットシートの接着

「メタルシート」を利用する場合。(磁石が効かない壁面)

1枚のタイルに6枚の「マグネットシート」が必要です。

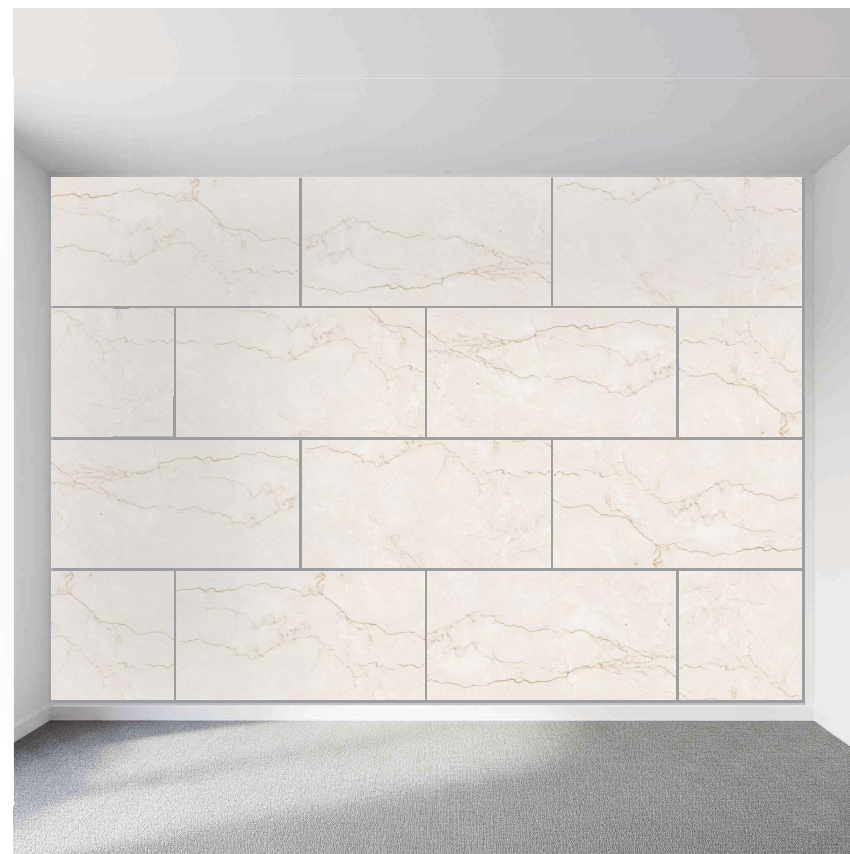
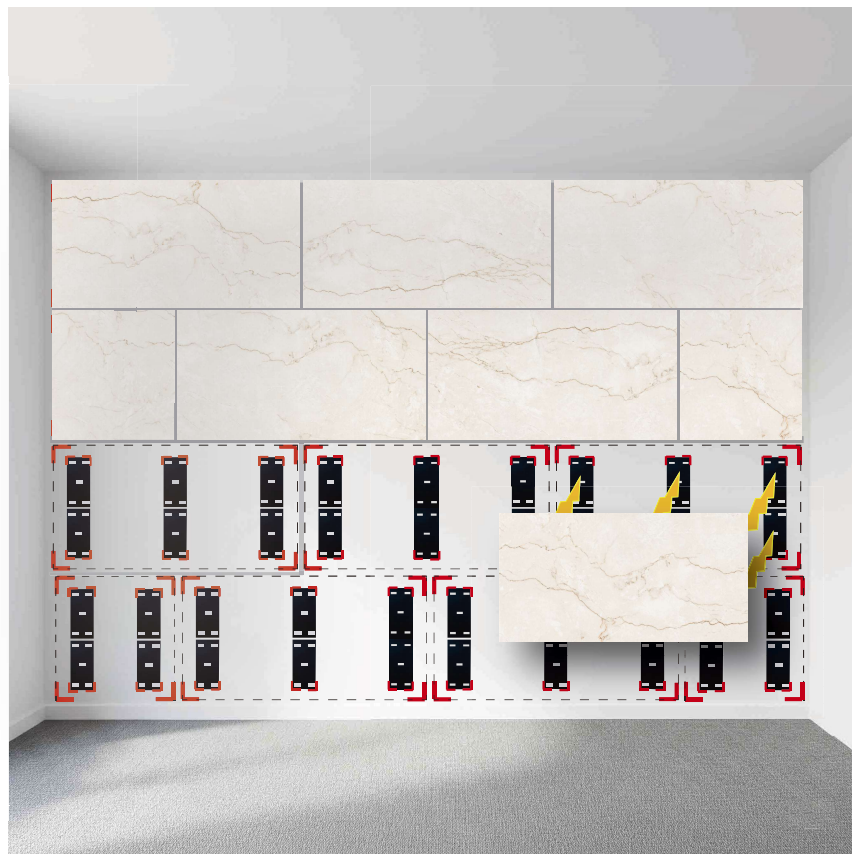


「マグネットシート」の張り付け位置。



接着し終えたマグセラは養生のため翌日まで平置きにしておいてください。(重ね置きで可)

磁石が着かない壁面の場合 施工手順 ③ マグセラの設置

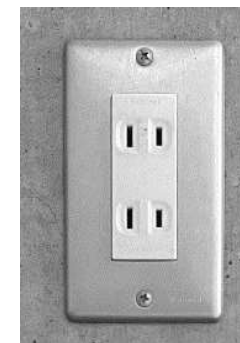
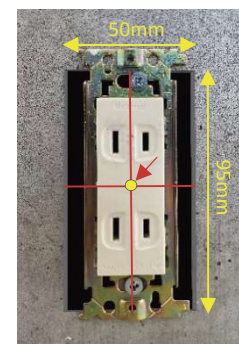


壁面にセットしたメタルシートに合わせて『マグセラ』を磁力で吸着させていきます。割付通り（1～3mm）の目地分の間隔を空けてください。その際にタイルとタイルがぶつからない様に気を付けてください。最後に少し離れたところから全体を確認して、傾きなどの微調整を行ってください。

カット方法



スイッチ部・コンセント部
『穴あけ加工』95×50mm
穴あけの中心部●の位置をご指定ください。



- 3mm厚の『マグセラ』は別売りの『ペン型ガラスカッター』を使い直線カットをすることができます。
- ①カット幅に見合った定規を用意してください。カットする線とカッターの丸い歯を合わせる様に定規で調整してください。合せましたら 奥から手前まで一気に強めにタイル表面に傷を入れていきます。
- ②傷の線と合わせる様に台の角を利用してテコの原理で下に押し割ります。
- ③カットした面を金属のヤスリ等でかるく擦って切り口を滑らかにしてください。



カット動画

スイッチ部・コンセント部の四角い「穴あけ加工」を弊社でも承っております。600×300 mmサイズのタイルのどこに●の位置があるかご指定ください。（※マグセラ代とカット加工代と運賃が別途かかります）ご利用の方は弊社お問い合わせ電話番号までご連絡ください。